

編集・発行／石狩市企画経済部秘書広報課 〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 Tel.0133-72-3145 Fax.0133-74-5581
【ホームページ】 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/> 【携帯電話用HP】 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/k/> 【Eメール】 nisyokoho@city.ishikari.hokkaido.jp

制作／株式会社キューコーポリューション
印刷・製本／株式会社フイワード

この広報紙は再生紙を使用しています。印刷には大豆インキを使用しています。
環境にやさしい印刷です。



広告

あの日を誓い

中国に伝わる紀元前1世紀初頭の日本を記した最古の文獻「漢書」地理志に「夫れ楽浪海中に倭人有り。分かれて百余国と為る。」の文を見ることが出来る、倭は和、輪、話、把、環などに通じた日本人の個性を象徴する文字だと思ふ。さらに数世紀を経て聖徳太子による十七条憲法などがつづられ、成文法による国家統治が始まった。以来1400年余り、その時々の権力者によりさまざまな布達がなされ、明治新政府により立憲政治となるも、主権は在君の時代であった。▼敗戦の年生まれた私は、クールジャパンすなわち「日本国憲法」と教えられてきた。平和を希求する普遍的な主張と信じて疑う余地も無かった。諸外国に対し、日本文化を取り入れるべきとの押し売りはあり得ないとしても、日本人の「以和為貴」の十七条憲法に刻まれたDNAを秘めつつ、戦後60年以上醸成してきた現憲法は、これまでも、日本のプライドとして世界に発する日本の価値そのものと思ふ。言うまでもなく自衛権は国際法上認められている。▼1945年7月石狩空襲があり人命は虐げられた。それからわずか1ヵ月後の8月15日に終戦を迎えた。誰しもがこの暑い夏に誓ったはずだ。平和の和の国になろうと。
(市長)